兵庫県立大学附属高等学校 31回生 学年通信 第14号　　令和7年6月30日発行

無限大“∞”

～文化祭＆千秋楽～

14号は文化祭号です（遅くなりすみません）。新しい教室で、担任、級友と意見を交わし役割を決め準備がスタートしました。文化委員や監督を中心として LHR だけでなく放課後も残って準備を進めていました。多くの生徒にとって『劇』を創り上げることは初めての経験だったと思います。その中で、意見を出し合い、工夫し、大道具を作り、セリフや立ち位置、効果的な音響や照明を考え、やってみては調整し・・・とトライ&エラーを繰り返しながら完成に向けて走っていました。

当日は、全クラスが揃って参加することは叶いませんでしたが、文化祭当日は 1，4，5 組が笑いあり感動ありの劇を披露してくれました。千秋楽前には「ほんとに劇するんですか？」と不安そうな顔もありましたが、本番では 2，3 組の劇が大盛り上がり（4組の映像・音響も上手くいきました！）で、終わった後は達成感と安心感の表情に変わっていました。クラスで協力して大きな事を成し遂げた経験が、次に向かう原動力になることでしょう！

【文化祭＆千秋楽（劇）】

2－1『夏の夜、君と僕』　原作者：松本快　最優秀賞!!

『最高のスタート』　2年1組　衣笠　亜美

2年1組劇、「夏の夜、君と僕。」。自分にとって、一から劇を作り上げることは初めての経験でした。去年二年生の劇を見て、正直先輩方のような素敵な劇が出来上がるのか不安でした。クラスも替わって、まだ馴染めていない中進んでいった文化祭準備。中津さんといっしょに文化委員として、話を進めまとめるのは少し大変でした。だけど、みんなと準備していく中で、今まで話したことのなかった子と話せたり、自分が知らなかったその子の良さを知ることができたり、少しずつ絆が深まっていくのを感じました。5月 16 日本番、前日まで練習し、ついに自分たちの出番になりました。自分は舞台には立たないけれど、成功するか不安で少し緊張しました。でもそんな気持ちとは反対に、最初から最後まで多くの人が笑ってくれて、舞台の切り替えも過去一良くて、セリフもとぶこともなく、本当に完璧で大成功でした。大変なこともたくさんあったけれど、優勝もすることができて、最高の思い出になり、2年1組の最高のスタートになりました。

ここで演者の一人、高嶋さんのコメントを紹介します。

「文化祭の劇を無事終えることができて本当によかったです。優勝が決まったときは嬉し過ぎてよっしゃーって言っちゃったりもしました。私がおかん役に推薦されたと聞いた時、確かにおかん役は私だなと納得しました。いまだに誰が言い出してくれたことなのか分からないけれど、ありがとうございます。おかんの役をするたびに誰かしらに本物のおかんやんと言われたり、おかん役についてみんな褒めてくれてとても嬉しかったです。私のお母さんがあんな感じでは全くないけど私の関西のおかんの解像度が高すぎるあまり実の母があんな感じだと勘違いされてしまっていて面白いです。初めて役を合わせた時からこれは優勝できると確信していました。みんな恥ずかしがらず本気だったし声が出ていました。さらに台本も改良を重ねてストーリーや伝えたいことがものすごくわかりやすくなっていてそこも評価されたのかなと思います。また舞台に出すものをなるべく少なくして『だれば』を減らしたことにより観客の集中を切らさないようにしたところも良かったと思います。主役とヒロインの二人はセリフもものすごく多いしタイミングとか大変だっただろうと思いますが二人のおかげで優勝できたと思うので MVP を送りたいです。裏方の方々も黒子として動いてくれたり、照明もタイミングが難しいのにバッチリでした。音響も練習ではハプニングがありながらも大成功でしたし、大道具の屋台看板は上手過ぎてお気に入りです。みんながそれぞれ素晴らしい働きをしたことで優勝という結果になったと思います。私は2年1組になれてこのメンバーでよかったです。次のクラス行事は球技大会です。そこもみんなの力を合わせて頑張りましょう。」

最後に、協力してくださった先生、裏で支えてくださった生徒会の方々のおかげです。演劇を、成功させることができて本当に嬉しかったし、最高の思い出です！

２－２『ゲーム世界で会いましょう』　原作者：船引里音

千秋楽の劇が無事に終わり、舞台裏での準備やサポートは決して派手ではありませんが、劇が成功するためには欠かせない重要な存在だと実感しました。

劇に出ていた人たちも、今までの練習よりも素晴らしい演技ができていたと思います。観客の反応が温かく、拍手が響く中で、裏方としてのサポートが役立っていることを実感しました。役者と観客の笑顔を見て、舞台裏からでもその喜びを共有できたことが何よりうれしかったです。

今回の経験を通じて、臨機応変に対応することや、チームワークの大切さ、細かな部分への注意が全体の成功に繋がることを学びました。次回の文化祭では、さらにスムーズに支えられるよう、たくさんのことを準備し、成長できるよう努めていきたいと思います。（平山　隼也）

２－３『思い出の食堂』　原作者：小寺優大

「学級閉鎖になれば、文化祭に出ることはできなくなり、劇を全校生の前で発表することはできません。学級閉鎖にならなかったら今いる限られたメンバーで劇をするしかありません。」と伝えられた時、私はつらい思いになりました。クラスのみんなが最優秀賞を目指し準備してきたので、残されたメンバーだけで劇をするのは絶対に嫌でした。

結局私たちは全校生の前で劇を披露することはできませんでしたが、その代わりに 31 回生の『千秋楽』で最高傑作の劇を披露することができました。１つの劇を作るのに全員が同じ目標に向かって進み、大ハプニングも乗り越えました。約 １ か月間クラスのみんなで放課後遅くまで残り道具を作ったり、動作や動きを確認したり、長いセリフを覚えたり、大きな声を出せるようにトレーニングしたり、20 分の劇なのにいざ通してみるとたったの 7 分で急いでセリフや男子のかわいいダンスを追加したり…。劇の準備を通して、たくさんのかけがえのない経験ができました。『思い出の食堂』は ３ 組の絆を深めてくれた最高の劇になりました！（岡　あゆ美）

２－４『あなたのお悩みに即効、マジカルジュース』　原作者：船引里音

文化祭の準備は時間との戦いでした。台本が手元に渡ってから ３ 日ほどで、劇の概要を練り上げなければならず、台本が不安定な状態で準備は進んでいきました。

しかし、そんな状況でありながら、劇の準備は非常にスムーズでした。 新しいクラスで役者に名乗りを上げる、それだけでも非常に勇気がいります。ましてやその中でセリフを暗記し、役を落とし込むなんて、できる人はそう多くないと思います。私の声だけの役ですら息が詰まっていたので、舞台に立つなんて言わずもがなでしょう。 舞台美術も迅速かつ、高クオリティのものを提供してくれました。特に妖精の衣装はカオスを体現していました(笑)。ただ、文化祭当日に機械トラブルで音響がうまく機能しなかったのが残念でしたね。音響がちゃんと機能すれば、４組の優勝だったでしょうに。

そんなこんなで、皆様の支えもあり無事に劇を完遂できました。時間のない中で多大なご協力ありがとうございました。（巴　維清）

２－５『マントルの人、聞こえますか』　原作者：丸尾優花

今年の文化祭、私たち ２ 年生は劇をしました。学級閉鎖があり、３１ 回生全員での参加は叶いませんでしたが、１ 組、４ 組、５ 組の ３ クラスで劇をすることができました。文化祭に向け、限られた時間の中でクラス一丸となって劇の準備を進めました。当日は、急遽代役をたてて劇をしましたが、無事やり通すことができました。エンディングには、放課後みんなでたくさん練習したマツケンサンバ II を踊って終わりました。１ 日目に披露された全校取組の旗は、どのクラスも個性がでていて、より文化祭の雰囲気を盛り上げてくれていました。有志発表では、かっこいいダンスやみんなで盛り上がって楽しめる歌や演奏があり、先輩や後輩、クラスメイトたちの新しい一面を知ることができました。今年度のテーマである「燦華」にぴったりな文化祭となりました。来年の文化祭は、３１ 回生全員で参加したいです。どんなふうになるのかとても楽しみです。(村上)

【Photos・・・memories・・・】

果物屋
サラルン

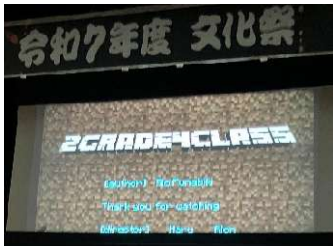
やきそば

令和7年度 文化祭

令和7年度 文化祭

令和7年度 文化祭

栗山食堂


令和7年度 文化祭
2GRADE4CLASS